

目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～3
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 3
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 3～4
- ★ 全数把握感染症集計表 P 5
- ★ 定点把握感染症集計表 P 6～10
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 11～15
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 16～19
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 20～21
- ★ 今シーズンのインフルエンザの流行状況 P 22～24
- ★ 新型コロナウイルス感染症の状況 P 25～



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（1）、静岡市（1）、中部（2）、浜松市（2））
- 3 類感染症 報告なし
- 4 類感染症 報告なし
- 5 類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（浜松市（1））、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（浜松市（1））、侵襲性インフルエンザ菌感染症（中部（1））、梅毒（東部（1）、富士（1）、静岡市（1））、百日咳（静岡市（2））

◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和5年第33週(8/14～8/20)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

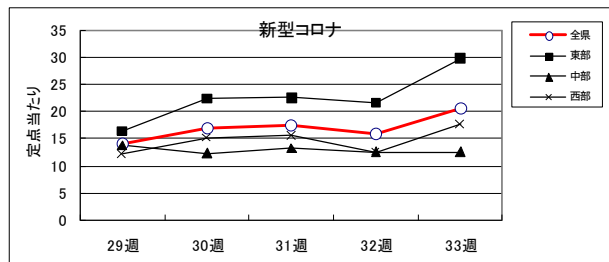
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

特になし

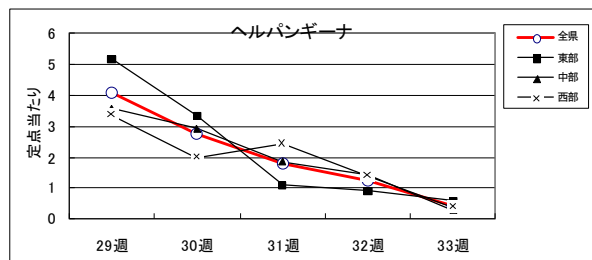
【新型コロナ】

全県で罹患数2,851、定点当たり20.51の患者発生があり、前週の15.81から増加した。定点当たり東部地区で29.86、中部地区で12.62、西部地区で17.62の患者が発生した。



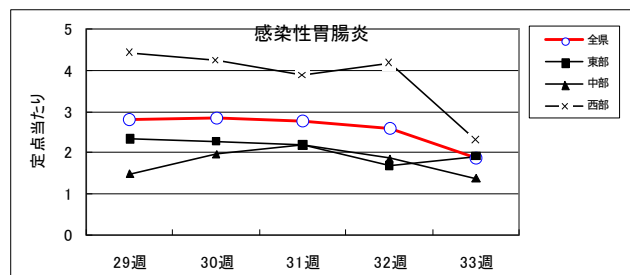
【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数39、定点当たり0.44の患者発生があり、前週の1.24から減少した。定点当たり東部地区で0.59、中部地区で0.3、西部地区で0.4の患者が発生した。



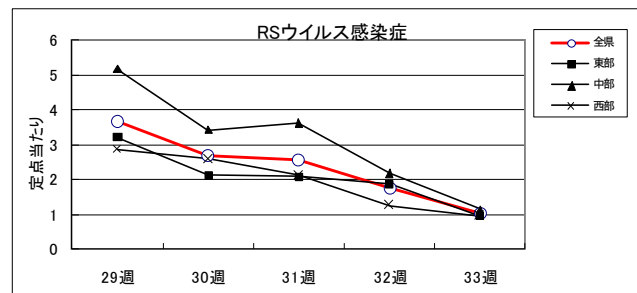
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数167、定点当たり1.88の患者発生があり、前週の2.57から減少した。定点当たり東部地区で1.91、中部地区で1.37、西部地区で2.3の患者が発生した。



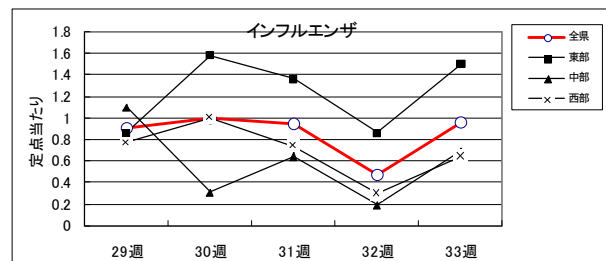
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数91、定点当たり1.02の患者発生があり、前週の1.76から減少した。定点当たり東部地区で0.97、中部地区で1.15、西部地区で0.97の患者が発生した。



【インフルエンザ】

全県で罹患数134、定点当たり0.96の患者発生があり、前週の0.47から増加した。定点当たりは、東部地区で1.5、中部地区で0.69、西部地区で0.64の発生があった。

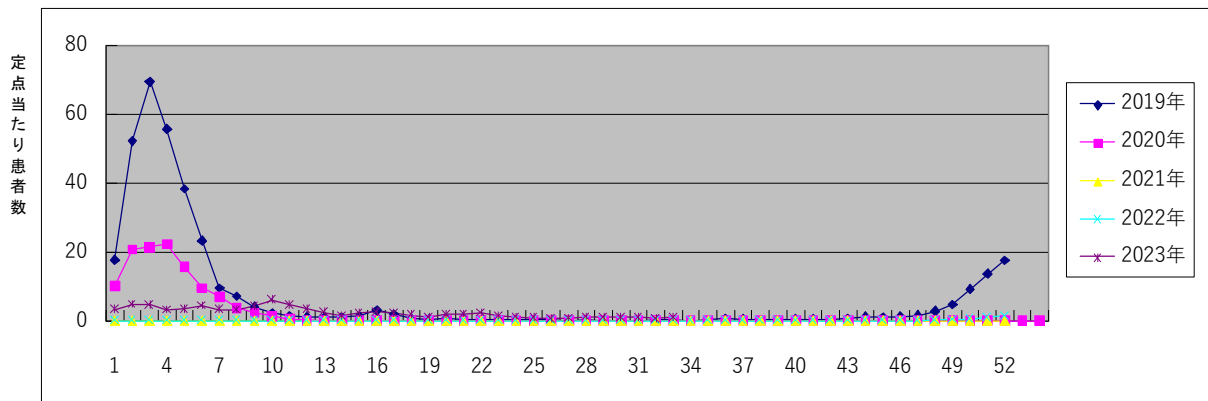


・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は1.01で前週の1.07から減少した。警報及び注意報レベルの保健所を有する都道府県は3から0に減少した。

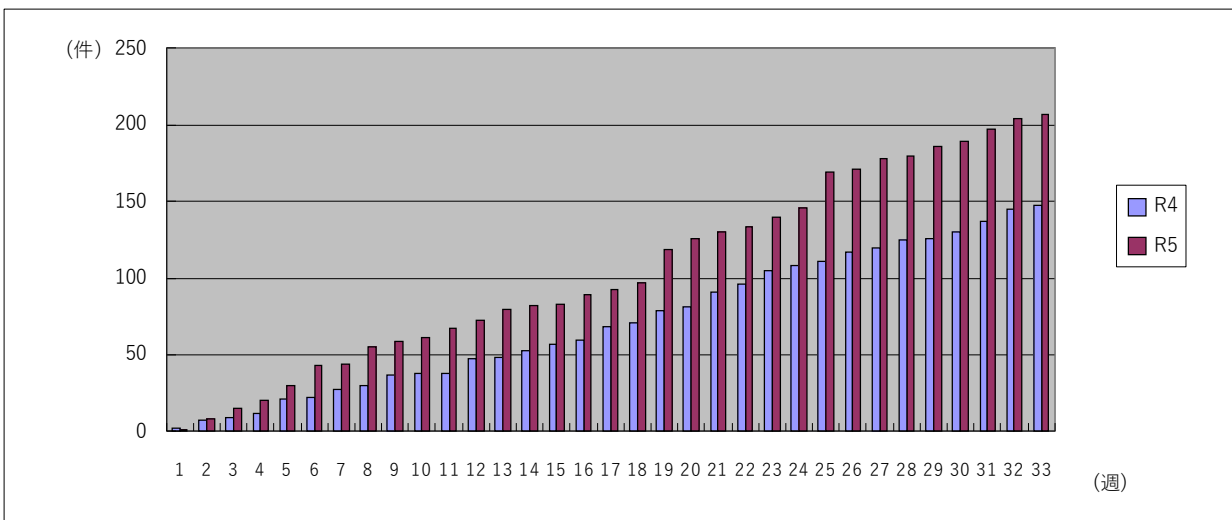
・静岡県において第33週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)新型コロナ(20.51)、2)感染性胃腸炎(1.88)、3)RSウイルス感染症(1.02)、4)インフルエンザ(0.96)、5)ヘルパンギーナ(0.44)、6)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(0.39)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第33週は前年同期比1.4倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警報 なし
注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第33週 (令和5年8月14日～令和5年8月20日)

かわづクリニック (河津町) 「ヒトメタニューモ 1名 (1歳男児)」

高野医院 (伊東市) 「新型コロナ 70名」

よぎ小児科医院 (沼津市) 「新型コロナ 10名、インフルエンザA型 1名」

光ヶ丘小児科 (三島市) 「新型コロナ 43名、RS 1名、インフルエンザA型 14名、ヒトメタニューモ 2名、咽頭アデノ 3名」

白十字小児科医院 (沼津市) 「インフルエンザA型 2名」

函南平出クリニック (函南町) 「ヒトメタニューモ 5名、突発性発疹 1名、溶連菌

3名」

クボタ小児科（三島市）「インフルエンザB型 1名」

なかがわ医院（小山町）「インフルエンザA型 1名」

富士病院（御殿場市）「インフルエンザA型 2名」

たうち小児科医院（御殿場市）「インフルエンザA型 11名、新型コロナ 97名」

小川小児科内科医院（富士市）「インフルエンザA型 7名、新型コロナ 85名」

木村内科医院（富士市）「新型コロナ 11名」

共立蒲原総合病院・内科（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 77名」

共立蒲原総合病院・小児科（富士市）「新型コロナ 5名」

幸治小児科医院（富士市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 13名」

聖隷富士病院（富士市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 70名」

瀬尾小児科内科医院（富士市）「インフルエンザ 3名、新型コロナ 20名」

田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 37名」

谷口小児科医院（富士宮市）「新型コロナ 11名」

永松医院（富士宮市）「新型コロナ 5名」

南陽堂内科循環器科クリニック（富士宮市）「新型コロナ 5名」

平野医院（富士市）「新型コロナ 5名」

富士市立中央病院（富士市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 22名」

富士宮市立病院（富士宮市）「新型コロナ 1名」

ふたばクリニック（磐田市）「インフルエンザA型 2名」

浜松医療センター（浜松市）「ヒトメタニューモ 1名」

天竜こども医院（浜松市）「咽頭アデノ 2名」

おおば小児科（浜松市）「インフルエンザA型 2名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況（R4-R5 シーズン累計）

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	4,244名	98%
インフルエンザB型	100名	2%

静岡県感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

（「静岡県 感染症情報センター」で検索）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県						全国					
		28週	29週	30週	31週	32週	今週	年累計	30週	31週	32週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		7	4	9	11	5	6	220	244	259	204	230	8,732
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													1
細菌性赤痢													24
腸管出血性大腸菌感染症		2		2	2	1		24	131	115	71	131	1,943
腸チフス									1	2		1	27
パラチフス													6
E型肝炎		1		1	1			5	9	7	7	4	374
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎										1	1		33
エキノкокクス症													9
エムボックス								1			1	1	187
賞熱													
オウム病													7
オムスク出血熱													
回帰熱											1	1	14
キャサヌル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													1
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群			1					3	3	6	2	3	108
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱													2
つつが虫病									1			1	109
デング熱				1				1	3	2	4	5	65
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニバウイルス感染症													
日本紅斑熱			1		1			5	8	15	13	13	240
日本脳炎											1		1
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													1
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア										2	1	1	12
野兔病													
ライム病									4		1		18
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症		1	2	1		1		34	47	34	26	34	1,336
レプトスピラ症													2
ロッキー山紅斑熱													10
アメーバ赤痢								11	7	7	4	13	318
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								1	1	1	2		158
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				2			1	16	28	33	28	39	1,163
急性弛緩性麻痺									1	2	1	2	40
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)				1				15	14	13	9	4	343
クリプトスポリジウム症												1	6
クロイツフェルト・ヤコブ病				1				5	1	5	2	3	97
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1			1	18	8	18	3	17	535
後天性免疫不全症候群			1		1	2		11	11	10	13	9	609
ジアルジア症								2			2	1	31
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1					1	9	10	7	9	9	358
侵襲性髄膜炎菌感染症											1		11
侵襲性肺炎球菌感染症								23	20	24	18	25	1,147
水痘(入院例に限る)		1		1		1		10	7	4	5	7	245
先天性風しん症候群													
梅毒			5	1	4	3	3	207	194	202	158	168	9,482
播種性クリプトкокクス症								2	1	3	1	2	109
破傷風								2	4	4	2	2	68
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1				1		10	2	2	1	1	80
百日咳					1			9	24	18	12	14	595
風しん										2			10
麻疹								2					22
薬剤耐性アシネトバクター感染症									1				11
新型コロナウイルス感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 33 週

	静岡県							全国				
	28週	29週	30週	31週	32週	今週	計	30週	31週	32週	今週	計
RSウイルス感染症	346	329	239	229	157	91	1,391	7,073	5,854	3,729	2,492	19,148
咽頭結膜熱	35	19	25	23	18	20	140	1,677	1,993	1,681	1,952	7,303
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	52	65	55	35	35	304	4,135	3,864	2,944	2,561	13,504
感染性胃腸炎	316	248	253	245	229	167	1,458	10,239	9,722	7,489	6,579	34,029
水痘	5	6	2	9	7	9	38	309	305	232	289	1,135
手足口病	82	71	60	57	55	29	354	4,001	3,815	2,801	2,239	12,856
伝染性紅斑	6	6	1	6	4	3	26	66	43	37	30	176
突発性発しん	19	13	21	21	23	15	112	786	848	679	603	2,916
ヘルパンギーナ	589	362	246	158	110	39	1,504	13,629	9,581	5,470	2,873	31,553
流行性耳下腺炎	5	3	5	5	7	3	28	177	194	144	109	624
インフルエンザ	154	125	139	130	65	134	747	8,088	7,090	5,082	4,913	25,173
新型コロナウイルス感染症	1,497	1,973	2,352	2,421	2,198	2,851	13,292	78,502	77,937	67,070	86,756	310,265
急性出血性結膜炎								8	10	3	4	25
流行性角結膜炎	4	2	2	2	3	3	16	350	373	235	325	1,283
細菌性髄膜炎	1	1		2	1	1	1	8	14	7	10	25
無菌性髄膜炎	1		1		1		3	20	18	18	20	44
マイコプラズマ肺炎	1	1	2	2	2		8	17	20	11	13	61
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										1		1
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								4	1	3		8

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 33 週

	静岡県						全国			
	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	今週	第30週	第31週	第32週	今週
RSウイルス感染症	3.89	3.70	2.69	2.57	1.76	1.02	2.25	1.87	1.23	0.81
咽頭結膜熱	0.39	0.21	0.28	0.26	0.20	0.22	0.53	0.64	0.56	0.63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.70	0.58	0.73	0.62	0.39	0.39	1.32	1.23	0.97	0.83
感染性胃腸炎	3.55	2.79	2.84	2.75	2.57	1.88	3.26	3.10	2.48	2.13
水痘	0.06	0.07	0.02	0.10	0.08	0.10	0.10	0.10	0.08	0.09
手足口病	0.92	0.80	0.67	0.64	0.62	0.33	1.27	1.22	0.93	0.73
伝染性紅斑	0.07	0.07	0.00	0.07	0.04	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	0.21	0.15	0.24	0.24	0.26	0.17	0.25	0.27	0.22	0.20
ヘルパンギーナ	6.62	4.07	2.76	1.78	1.24	0.44	4.34	3.06	1.81	0.93
流行性耳下腺炎	0.06	0.03	0.06	0.06	0.08	0.03	0.06	0.06	0.05	0.47
インフルエンザ	1.11	0.90	1.00	0.94	0.47	0.96	1.64	1.44	1.07	1.01
新型コロナウイルス感染症	10.77	14.19	16.92	17.42	15.81	20.51	15.91	15.81	14.16	17.84
急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.00	0.01
流行性角結膜炎	0.18	0.09	0.09	0.09	0.14	0.14	0.50	0.54	0.36	0.47
細菌性髄膜炎	0.10	0.10		0.20	0.10	0.10	0.02	0.03	0.01	0.02
無菌性髄膜炎	0.10		0.10		0.10		0.04	0.04	0.04	0.04
マイコプラズマ肺炎	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20		0.04	0.04	0.02	0.03
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.00	
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.00	0.01	

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 33 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	91	1.02	20	0.22	35	0.39	167	1.88	9	0.10
賀茂	1	0.50					3	1.50		
熱海	2	0.50			1	0.25				
東部	13	1.00	1	0.08	4	0.31	33	2.54	2	0.15
御殿場	9	2.25	1	0.25	10	2.50	19	4.75		
富士	6	0.67	1	0.11	2	0.22	6	0.67	2	0.22
静岡市	25	1.56	3	0.19	5	0.31	13	0.81	1	0.06
中部	6	0.55	3	0.27			24	2.18		
西部	24	2.00	8	0.67	4	0.33	34	2.83	2	0.17
浜松市	5	0.28	3	0.17	9	0.50	35	1.94	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	29	0.33	3	0.03	15	0.17	39	0.44	3	0.03
賀茂	1	0.50								
熱海							3	0.75		
東部					2	0.15	8	0.62	3	0.23
御殿場					3	0.75	2	0.50		
富士	8	0.89			2	0.22	6	0.67		
静岡市	2	0.13	1	0.06	3	0.19	6	0.38		
中部	2	0.18			1	0.09	2	0.18		
西部	13	1.08	2	0.17	2	0.17	5	0.42		
浜松市	3	0.17			2	0.11	7	0.39		

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	134	0.96	2,851	20.51	0	2	0	0	89	50
賀茂	7	2.33	115	38.33					2	1
熱海	3	0.50	231	38.50					4	2
東部	32	1.60	436	21.80					13	7
御殿場	14	2.33	344	57.33					4	2
富士	19	1.27	367	24.47					9	6
静岡市	23	0.92	265	10.60					16	9
中部	6	0.35	265	15.59					11	6
西部	7	0.37	499	26.26		1			12	7
浜松市	23	0.82	329	11.75		1			18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 33 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		3	0.14	1	0.10	0		0	
賀茂										
熱海										
東部			1	0.25	1	1.00				
御殿場										
富士										
静岡市										
中部										
西部										
浜松市			2	0.67						

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

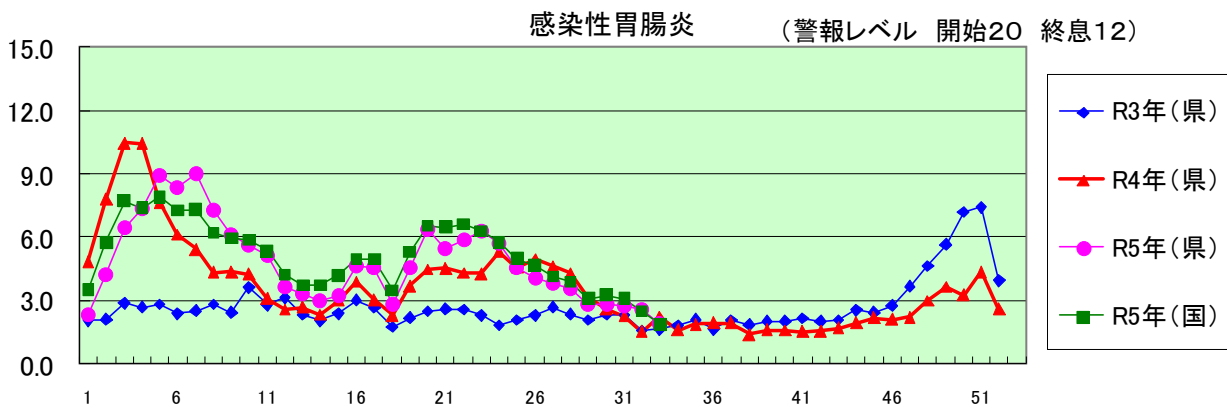
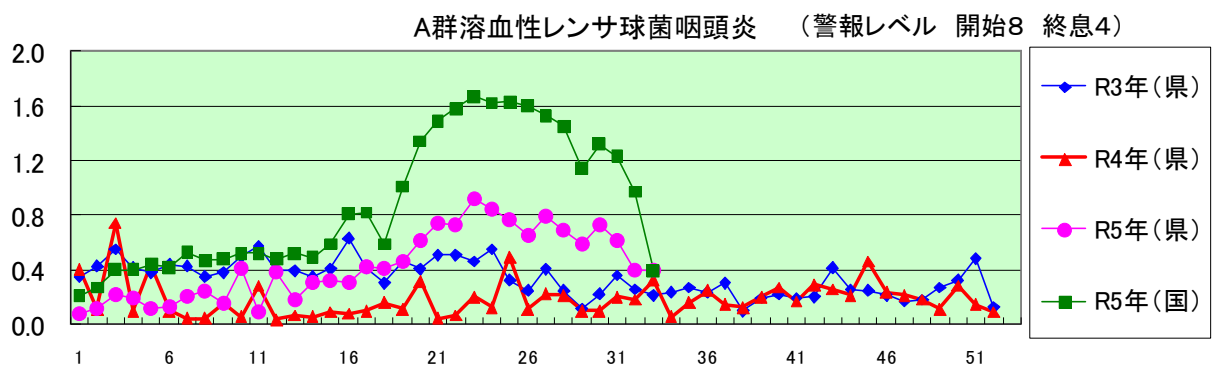
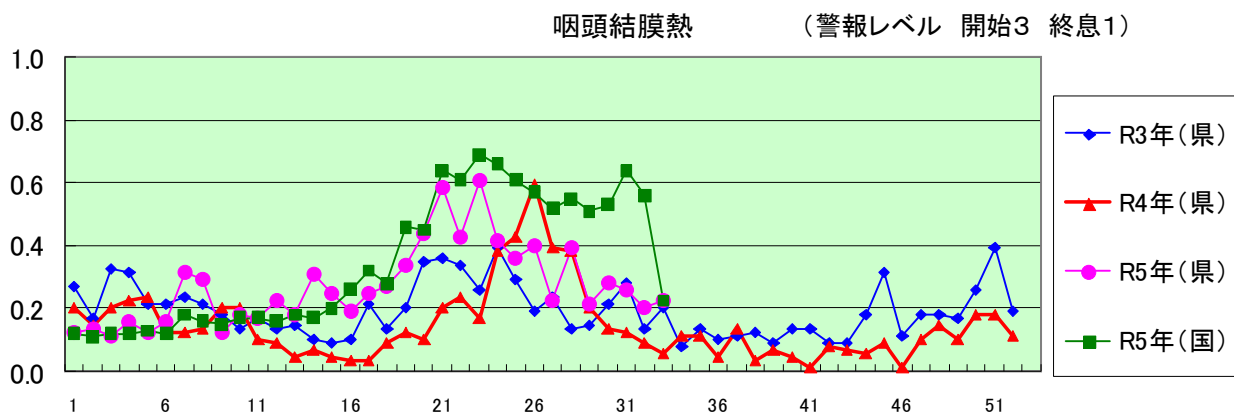
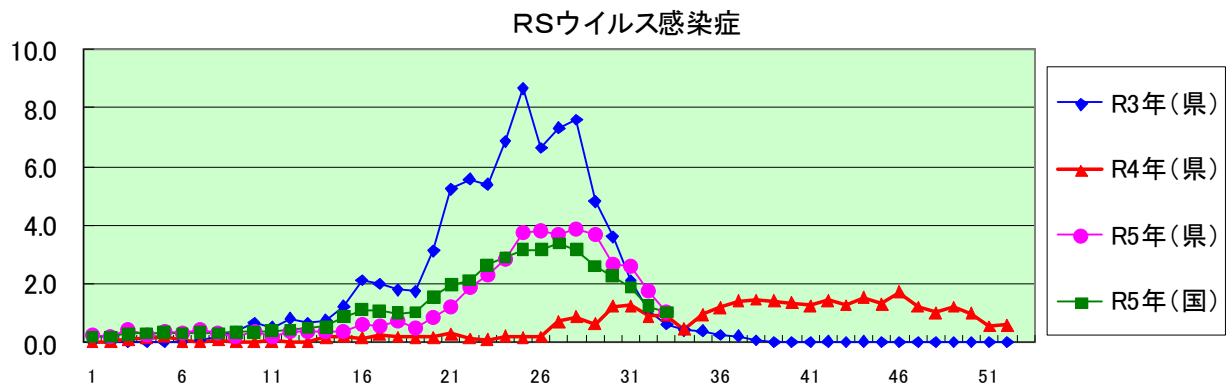
2023年 33 週

年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	11	19	26	14	10	4	5		1	1											91	
咽頭結膜炎			2	1	7	2	4	1	1			1										20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				3	5	4	4	2	2	2	3	4										35
感染性胃腸炎	2	13	33	25	17	11	10	10	8	10	7	11	2	8								167
水痘			2			2		1	2			1		1								9
手足口病		1	11	9	2	1	1	1		1	1	1										29
伝染性紅斑					1		1	1														3
突発性発しん	1	4	6	2	2																	15
ヘルパンギーナ		8	13	5	4	3	4	1	1													39
流行性耳下腺炎							2	1														3
インフルエンザ	3		3	5	5	4	7	2	11	2	8	32	9	12	5	12	4	4	2	4		134
新型コロナウイルス感染症	36	54	55	48	39	31	42	33	28	34	49	168	129	329	290	357	354	305	225	245	245	2,851
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎				1				1									1					3
細菌性髄膜炎																1						1
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎																						
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

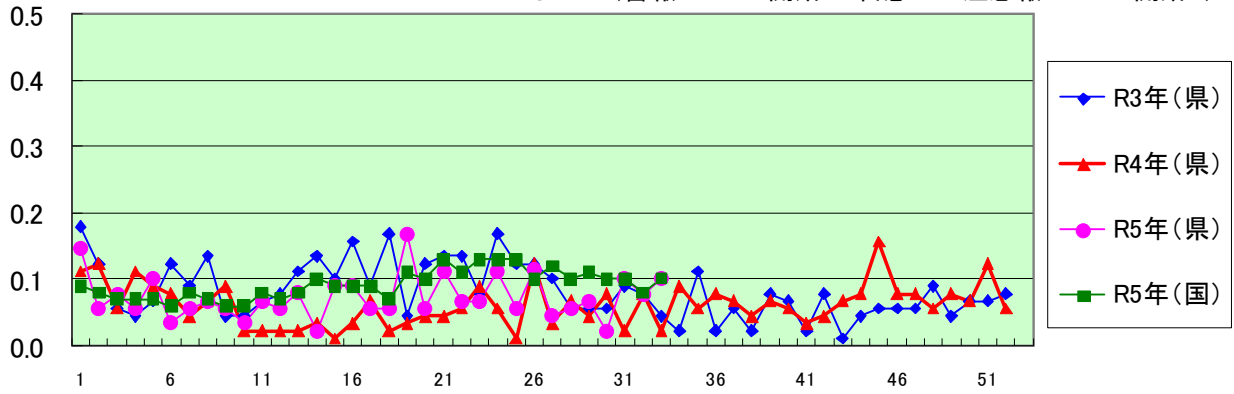
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 33 週

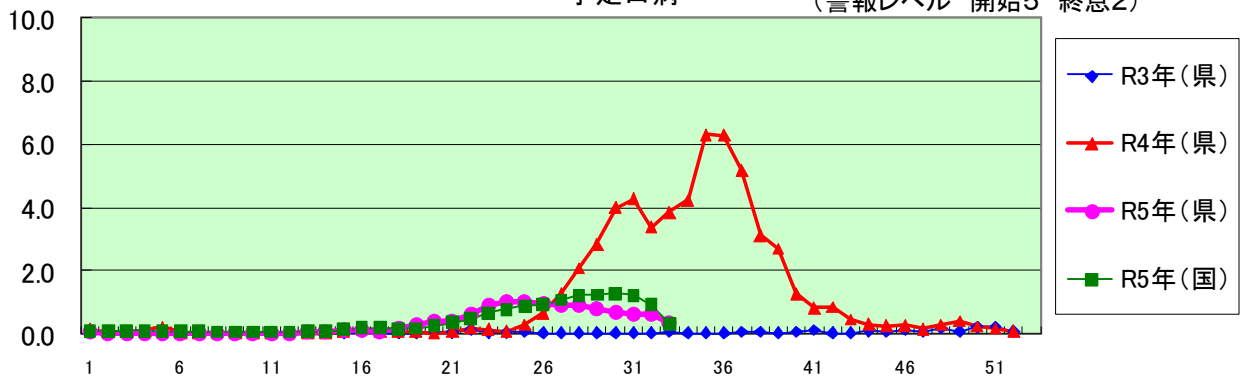
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	0.12	0.21	0.29	0.16	0.11	0.04	0.06		0.01	0.01											1.02	
咽頭結膜炎			0.02	0.01	0.08	0.02	0.04	0.01	0.01			0.01		0.01								0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				0.03	0.06	0.04	0.04	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04		0.07								0.39
感染性胃腸炎	0.02	0.15	0.37	0.28	0.19	0.12	0.11	0.11	0.09	0.11	0.08	0.12	0.02	0.09								1.88
水痘			0.02			0.02		0.01	0.02			0.01		0.01								0.10
手足口病		0.01	0.12	0.10	0.02	0.01	0.01	0.01		0.01	0.01	0.01										0.33
伝染性紅斑					0.01		0.01	0.01														0.03
突発性発しん	0.01	0.04	0.07	0.02	0.02																	0.17
ヘルパンギーナ		0.09	0.15	0.06	0.04	0.03	0.04	0.01	0.01													0.44
流行性耳下腺炎							0.02	0.01														0.03
インフルエンザ	0.02		0.02	0.04	0.04	0.03	0.05	0.01	0.08	0.01	0.06	0.23	0.06	0.09	0.04	0.09	0.03	0.03	0.01	0.03	0.96	
新型コロナウイルス感染症	0.26	0.39	0.40	0.35	0.28	0.22	0.30	0.24	0.20	0.24	0.35	1.21	0.93	2.37	2.09	2.57	2.55	2.19	1.62	1.76	20.51	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎				0.05			0.05									0.05						0.14
細菌性髄膜炎															0.10							0.10
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎																						
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						



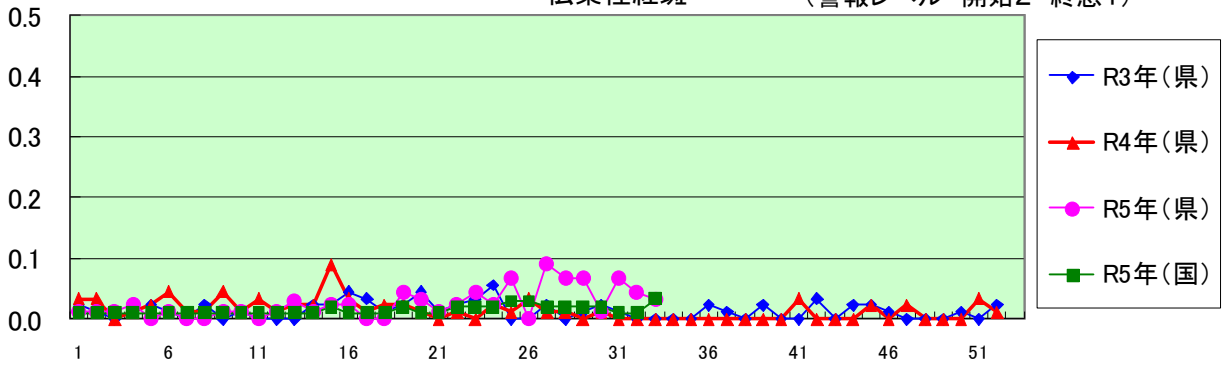
水痘 (警報レベル 開始2 終息1 注意報レベル 開始1)



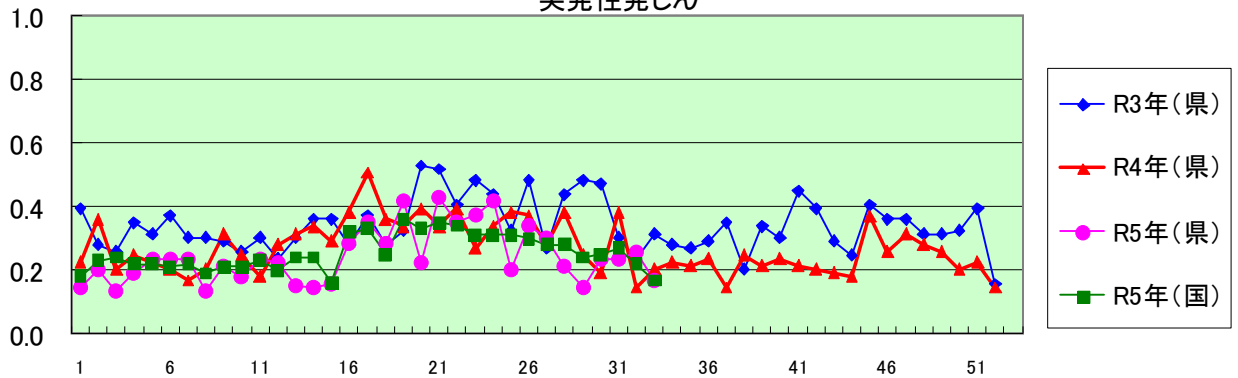
手足口病 (警報レベル 開始5 終息2)

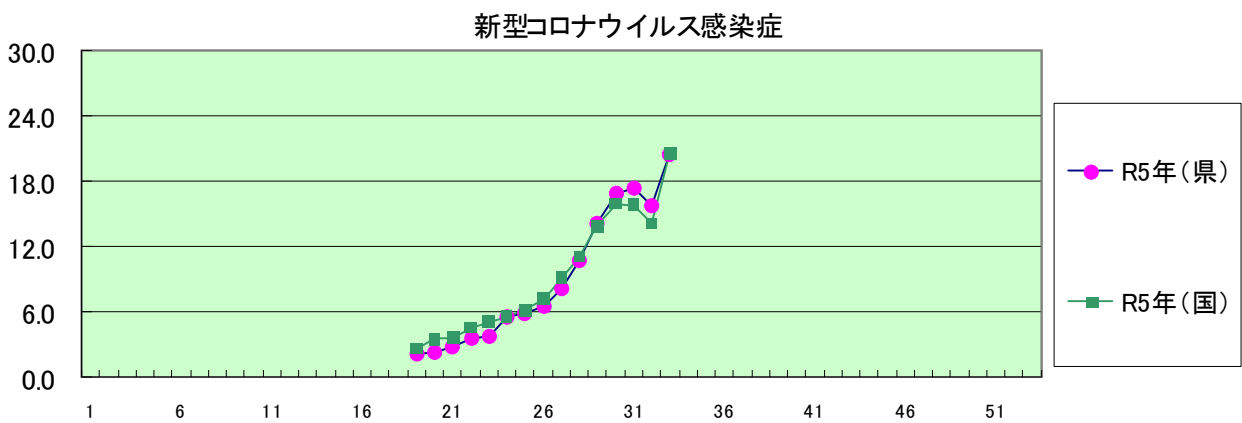
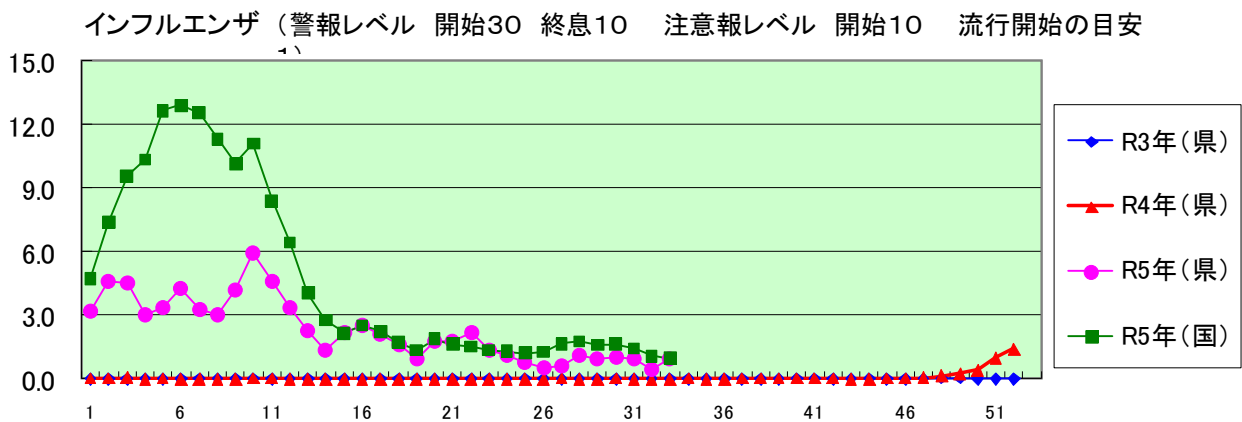
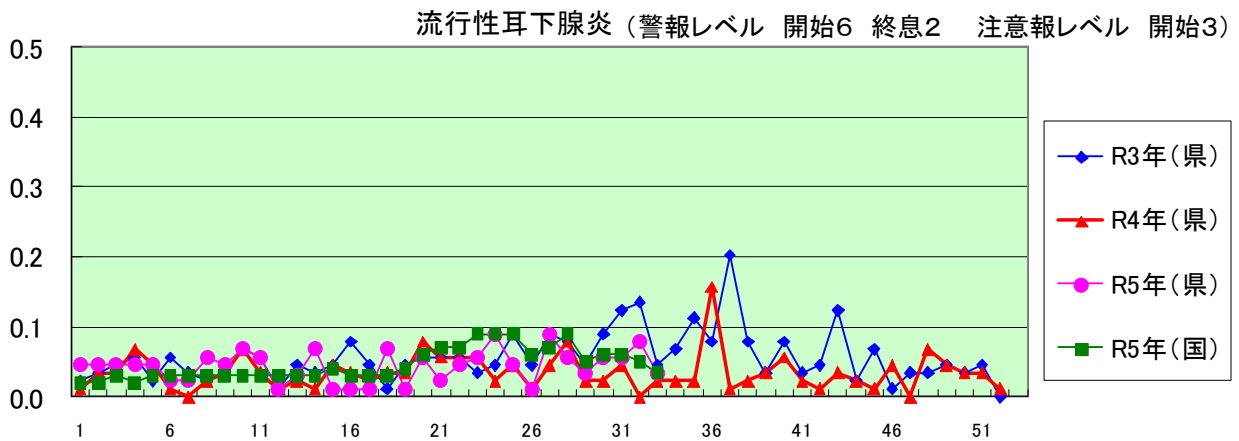
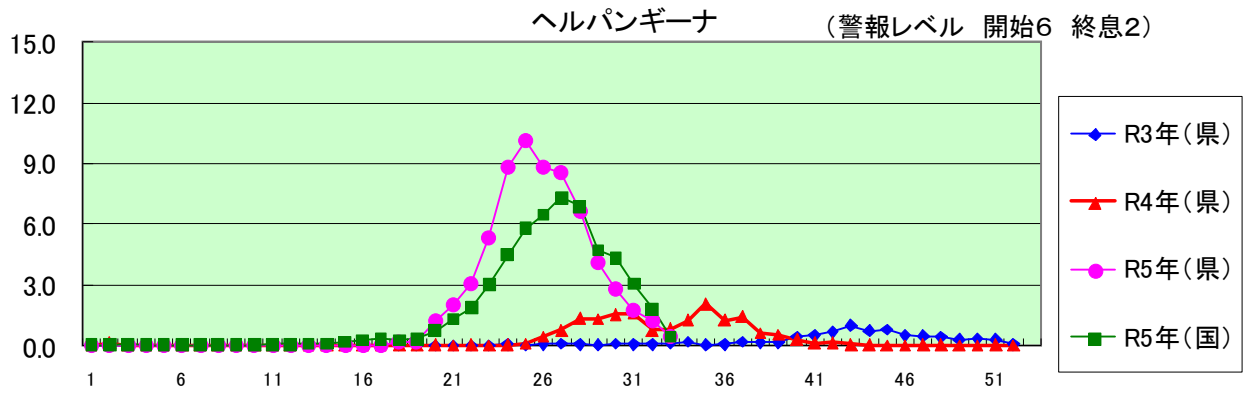


伝染性紅斑 (警報レベル 開始2 終息1)



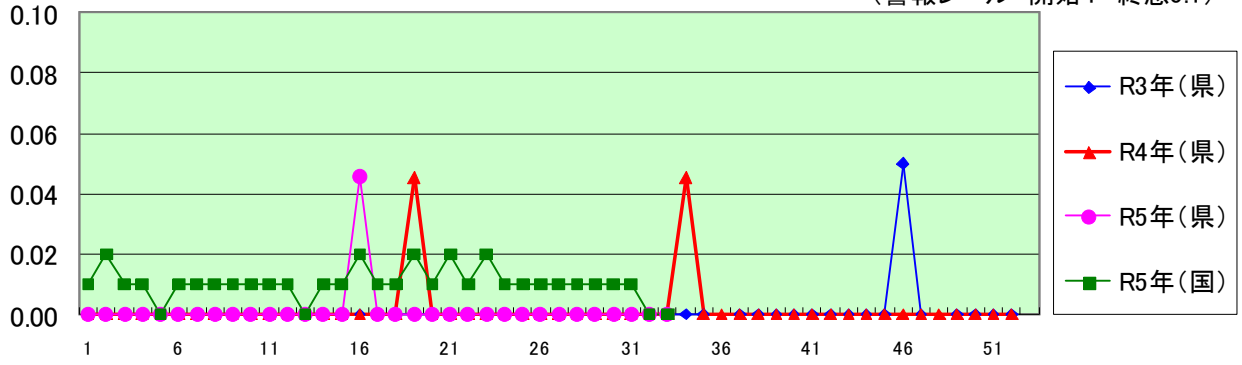
突発性発しん





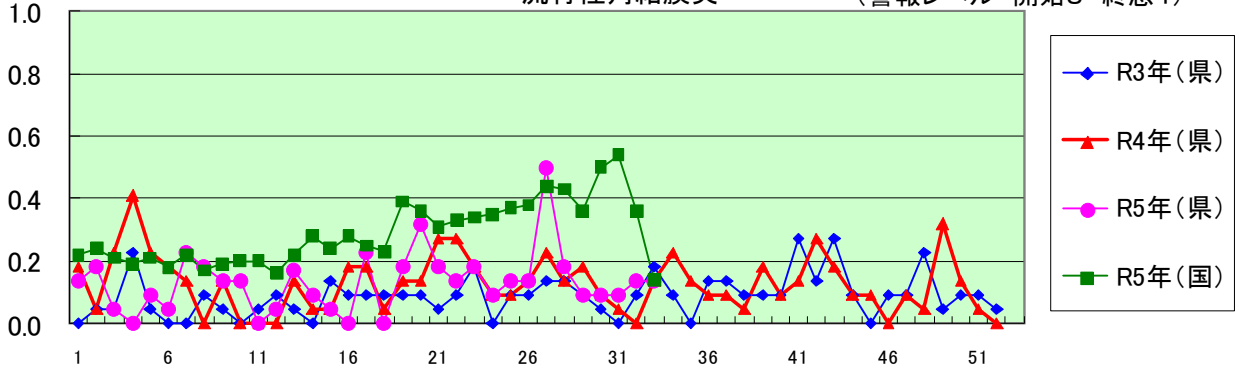
急性出血性結膜炎

(警報レベル 開始1 終息0.1)

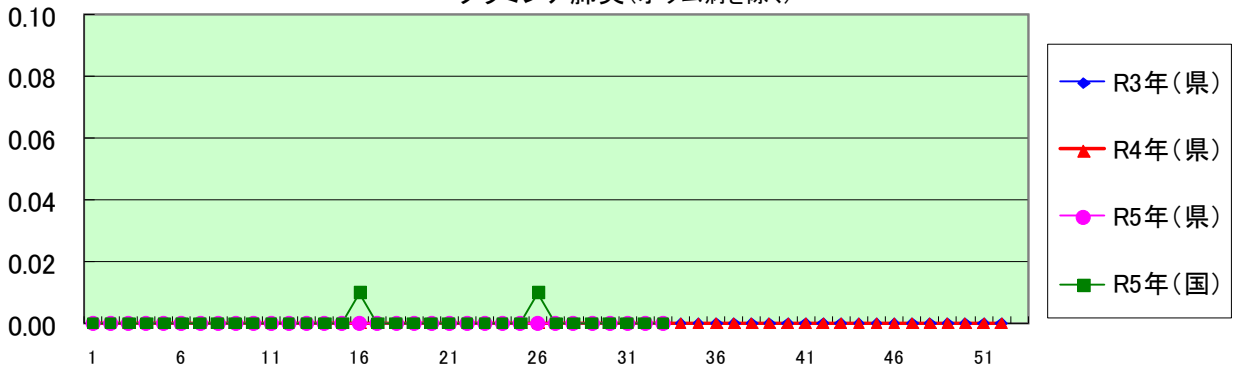


流行性角結膜炎

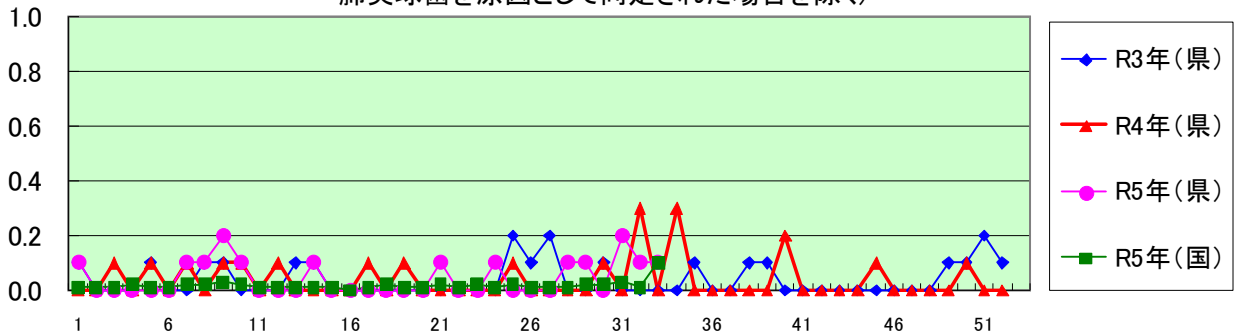
(警報レベル 開始8 終息4)



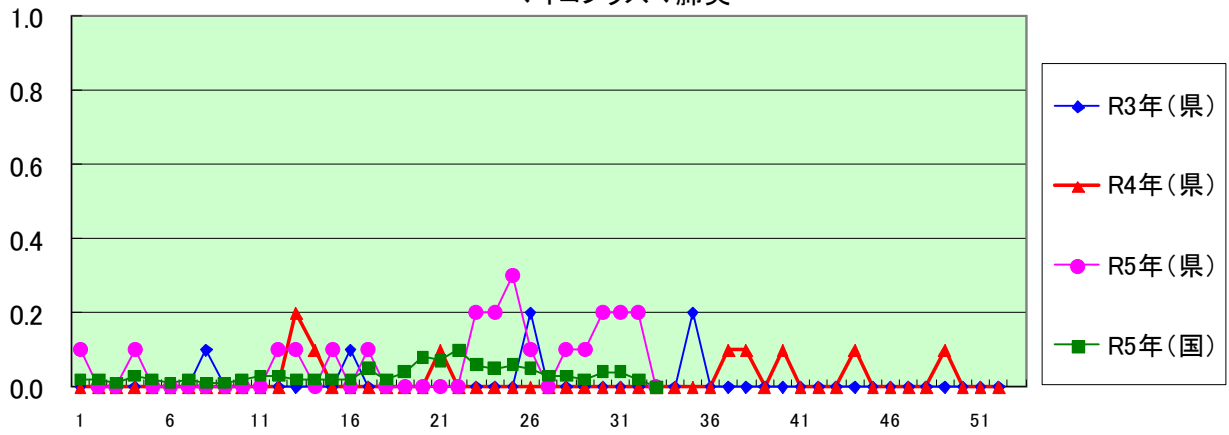
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



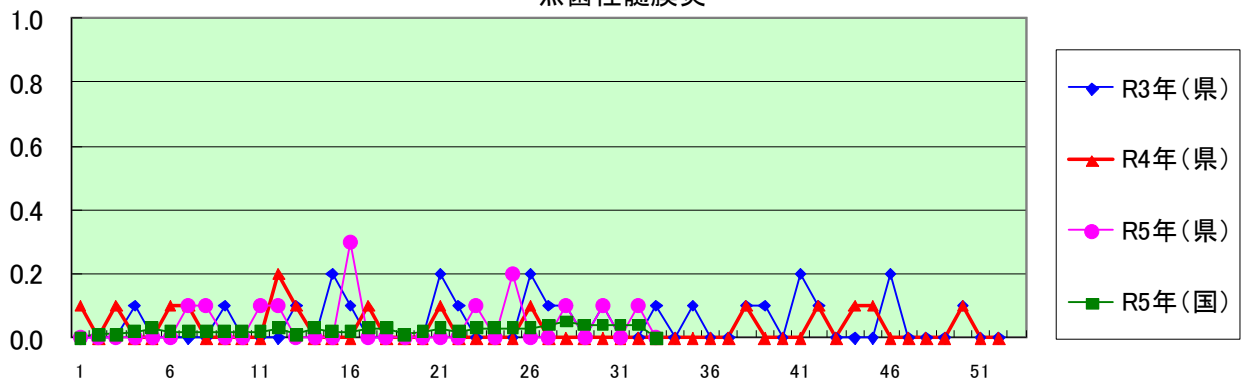
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)



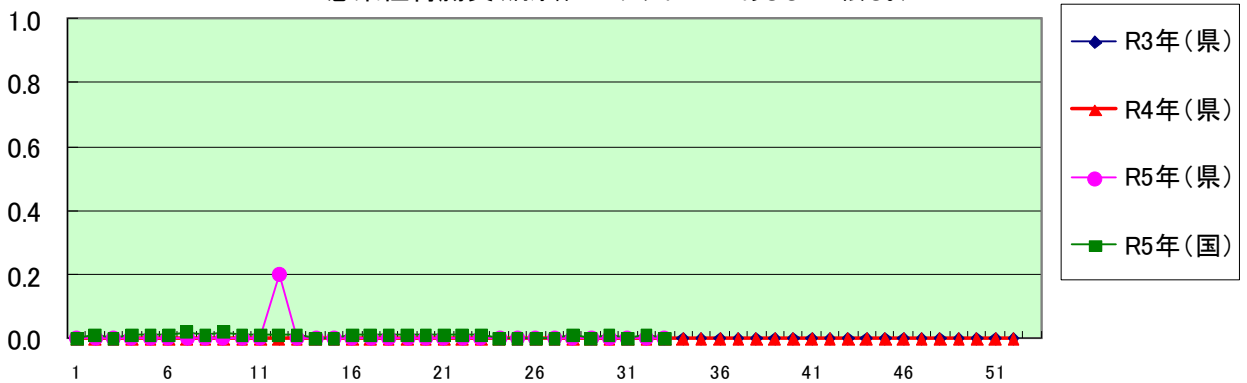
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 7 月

	静岡県							全国				
	2月	3月	4月	5月	6月	今月	計	4月	5月	6月	今月	計
性器クラミジア感染症	47	42	43	44	65	43	284	2,512	2,708	2,871	2,623	10,714
性器ヘルペスウイルス感染症	10	14	18	15	21	12	90	758	798	835	782	3,173
尖圭コンジローマ	12	12	20	12	6	18	80	562	610	610	581	2,363
淋菌感染症	11	20	8	13	25	16	93	773	831	775	789	3,168
性器クラミジア感染症(男)	19	12	13	13	25	12	94	1,302	1,410	1,408	1,339	5,459
性器クラミジア感染症(女)	28	30	30	31	40	31	190	1,210	1,298	1,463	1,284	5,255
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	1	2	7	5	9	7	31	293	317	325	289	1,224
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	9	12	11	10	12	5	59	465	481	510	493	1,949
尖圭コンジローマ(男)	9	1	8	3	1	5	27	379	410	403	378	1,570
尖圭コンジローマ(女)	3	11	12	9	5	13	53	183	200	207	203	793
淋菌感染症(男)	8	12	7	10	15	7	59	585	620	569	593	2,367
淋菌感染症(女)	3	8	1	3	10	9	34	188	211	206	196	801
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18	18	25	25	23	33	142	1,012	1,210	1,213	1,246	4,681
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								57	116	95	107	375
薬剤耐性緑膿菌感染症								4	8	11	11	34

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 7 月

	静岡県						全国			
	2月	3月	4月	5月	6月	今月	4月	5月	6月	今月
性器クラミジア感染症	1.57	1.40	1.43	1.47	2.17	1.43	2.57	2.76	2.91	2.66
性器ヘルペスウイルス感染症	0.33	0.47	0.60	0.50	0.70	0.40	0.78	0.81	0.85	0.79
尖圭コンジローマ	0.40	0.40	0.67	0.40	0.20	0.60	0.58	0.62	0.62	0.59
淋菌感染症	0.37	0.67	0.27	0.43	0.83	0.53	0.79	0.85	0.79	0.80
性器クラミジア感染症(男)	0.63	0.40	0.43	0.43	0.83	0.40	1.33	1.44	1.43	1.36
性器クラミジア感染症(女)	0.93	1.00	1.00	1.03	1.33	1.03	1.24	1.32	1.48	1.30
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.03	0.07	0.23	0.17	0.30	0.23	0.30	0.32	0.33	0.29
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.30	0.40	0.37	0.33	0.40	0.17	0.48	0.49	0.52	0.50
尖圭コンジローマ(男)	0.30	0.03	0.27	0.10	0.03	0.17	0.39	0.42	0.41	0.38
尖圭コンジローマ(女)	0.10	0.37	0.40	0.30	0.17	0.43	0.19	0.20	0.21	0.21
淋菌感染症(男)	0.27	0.40	0.23	0.37	0.50	0.23	0.60	0.63	0.58	0.60
淋菌感染症(女)	0.10	0.27	0.03	0.10	0.33	0.30	0.19	0.22	0.21	0.20
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.80	1.80	2.50	2.50	2.30	3.30	2.14	2.54	2.55	2.61
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.12	0.24	0.20	0.22
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.01	0.02	0.02	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 7 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	43	1.43	12	0.40	18	0.60	16	0.53
賀茂
熱海					2	2.00		
東部	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
御殿場	1	1.00			1	1.00		
富士	9	3.00	1	0.33			1	0.33
静岡市	12	2.00	6	1.00	5	0.83	7	1.17
中部	5	1.25	3	0.75	1	0.25	3	0.75
西部	12	2.40			3	0.60	5	1.00
浜松市	3	0.60	1	0.20	5	1.00		

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	33	3.30	0		0	
賀茂	1	1.00				
熱海	1	1.00				
東部	1	1.00				
御殿場
富士	3	3.00				
静岡市	15	7.50				
中部	3	3.00				
西部	6	6.00				
浜松市	3	1.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 7 月

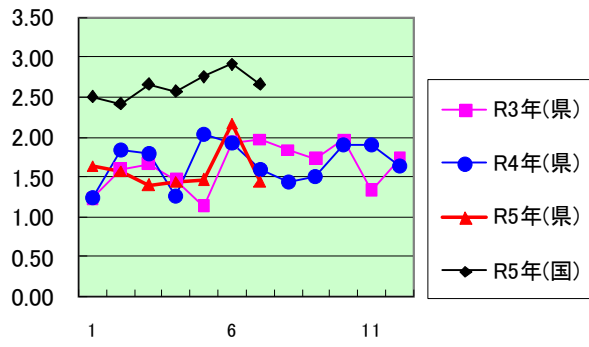
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					5	12	10	2	4	4	1	5					43
性器ヘルペスウイルス感染症						3	4			1		3	1				12
尖圭コンジローマ					1	6	5	1	1	2	2						18
淋菌感染症					1	2	5	2	3		1	2					16
性器クラミジア感染症(男)					1	2	2	1	1	1		4					12
性器クラミジア感染症(女)					4	10	8	1	3	3	1	1					31
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						2	3			1		1					7
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						1	1					2	1				5
尖圭コンジローマ(男)						1	1			1	2						5
尖圭コンジローマ(女)					1	5	4	1	1	1							13
淋菌感染症(男)						1	1	2	1		1	1					7
淋菌感染症(女)					1	1	4		2			1					9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1			1					1				1	3	26	33
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

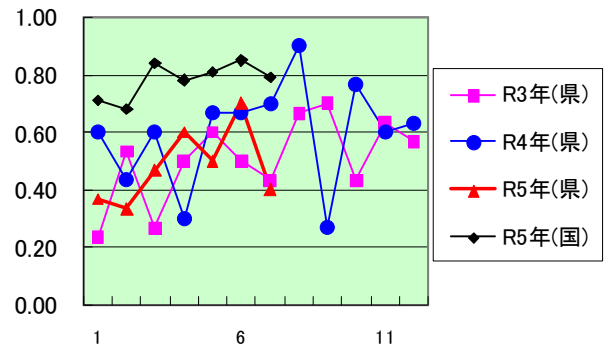
2023年 7 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.17	0.40	0.33	0.07	0.13	0.13	0.03	0.17					1.43
性器ヘルペスウイルス感染症						0.10	0.13			0.03		0.10	0.03				0.40
尖圭コンジローマ					0.03	0.20	0.17	0.03	0.03	0.07	0.07						0.60
淋菌感染症					0.03	0.07	0.17	0.07	0.10		0.03	0.07					0.53
性器クラミジア感染症(男)					0.03	0.07	0.07	0.03	0.03	0.03		0.13					0.40
性器クラミジア感染症(女)					0.13	0.33	0.27	0.03	0.10	0.10	0.03	0.03					1.03
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						0.07	0.10			0.03		0.03					0.23
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.03	0.03					0.07	0.03				0.17
尖圭コンジローマ(男)						0.03	0.03			0.03	0.07						0.17
尖圭コンジローマ(女)					0.03	0.17	0.13	0.03	0.03	0.03							0.43
淋菌感染症(男)						0.03	0.03	0.07	0.03		0.03	0.03					0.23
淋菌感染症(女)					0.03	0.03	0.13		0.07			0.03					0.30
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0.10			0.10					0.10				0.10	0.30	2.60	3.30
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

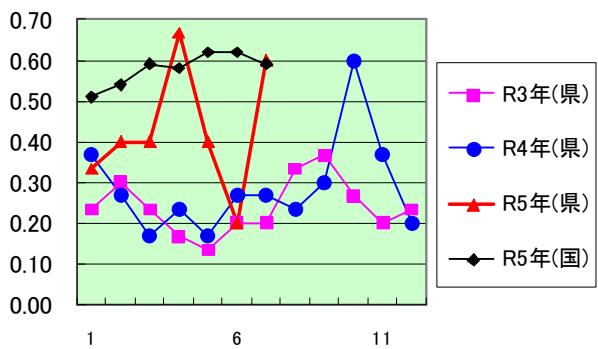
性器クラミジア感染症



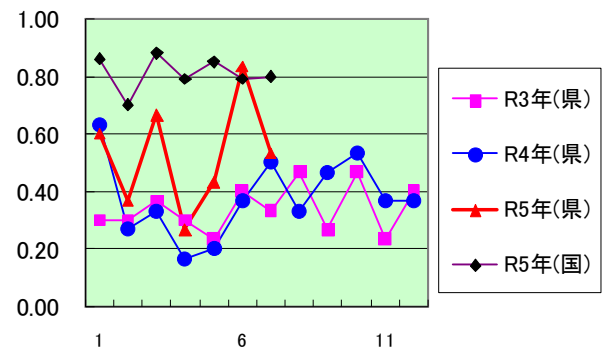
性器ヘルペスウイルス感染症



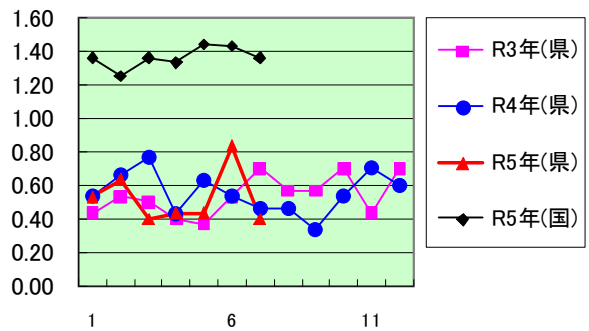
尖圭コンジローマ



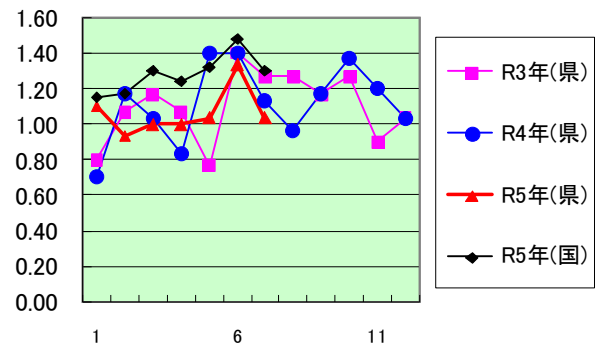
淋菌感染症



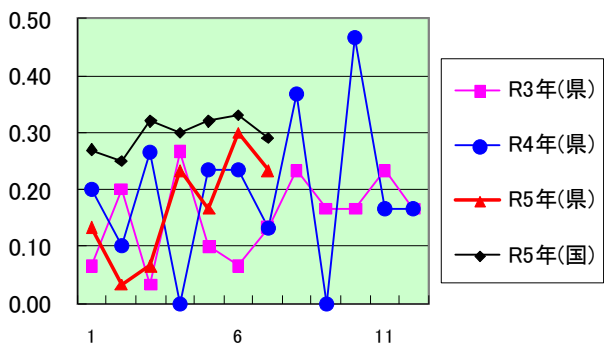
性器クラミジア感染症(男)



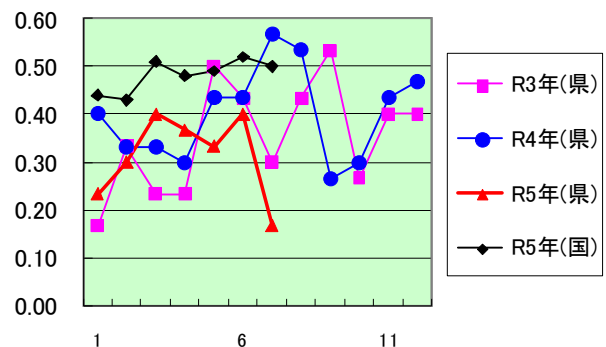
性器クラミジア感染症(女)



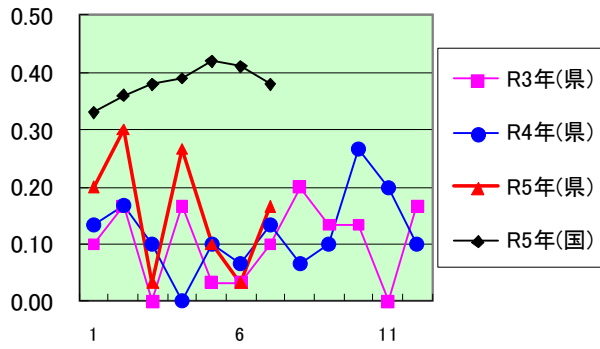
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



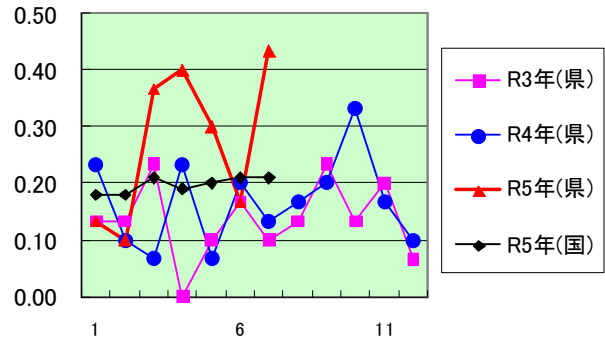
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



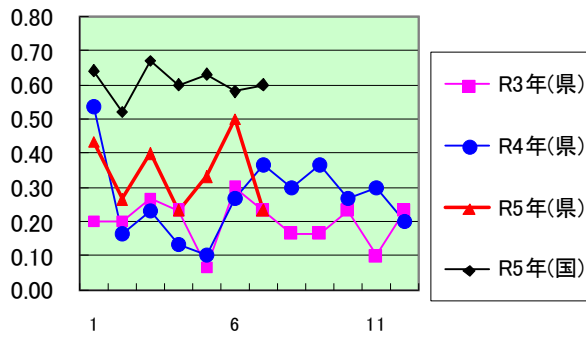
尖圭コンジローマ(男)



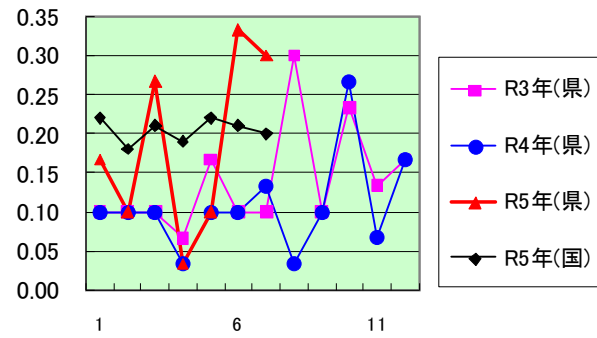
尖圭コンジローマ(女)



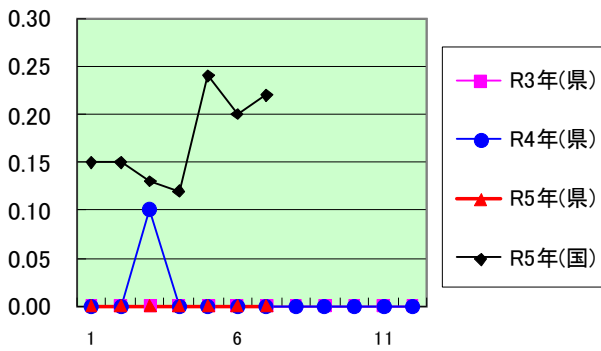
淋菌感染症(男)



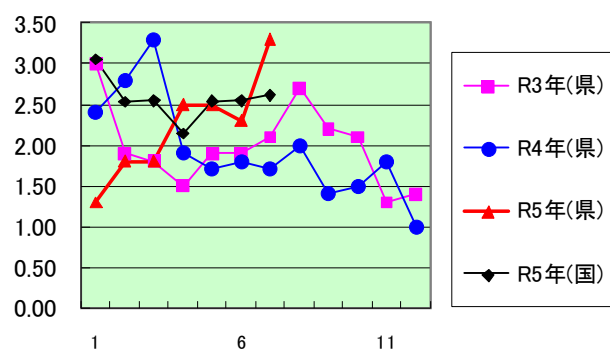
淋菌感染症(女)



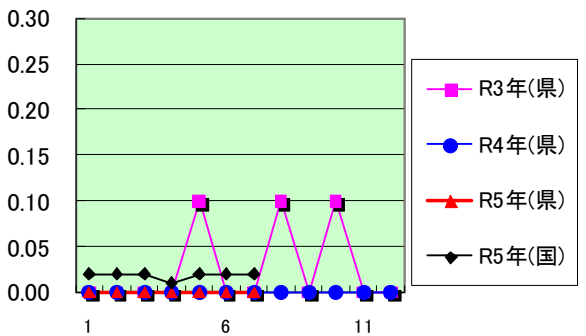
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

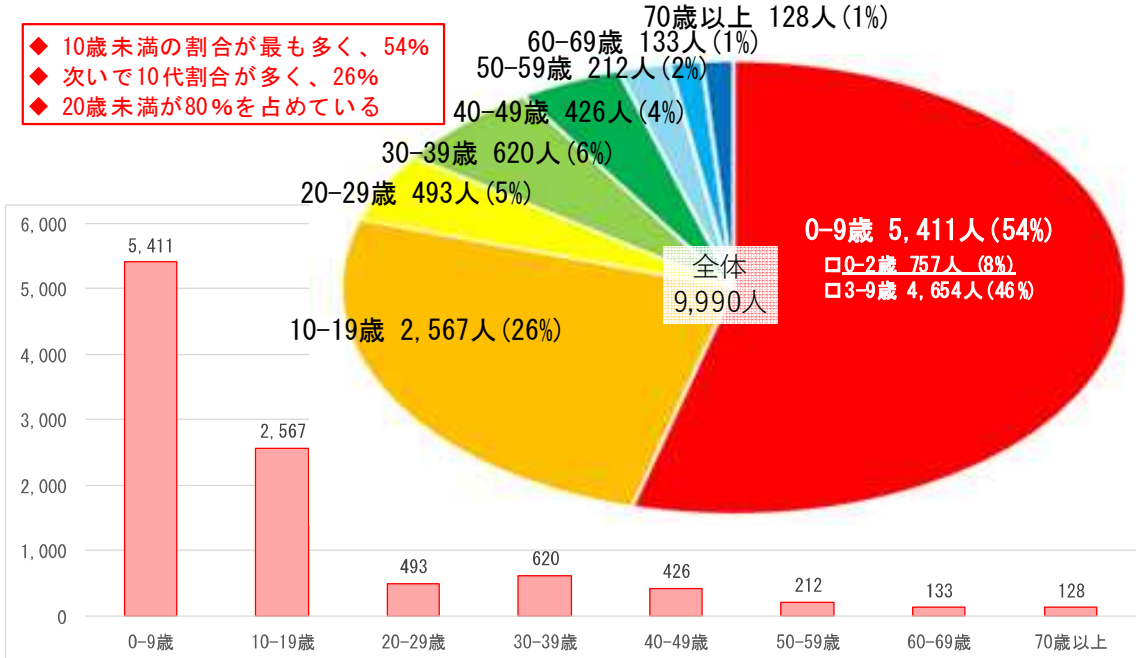


薬剤耐性緑膿菌感染症

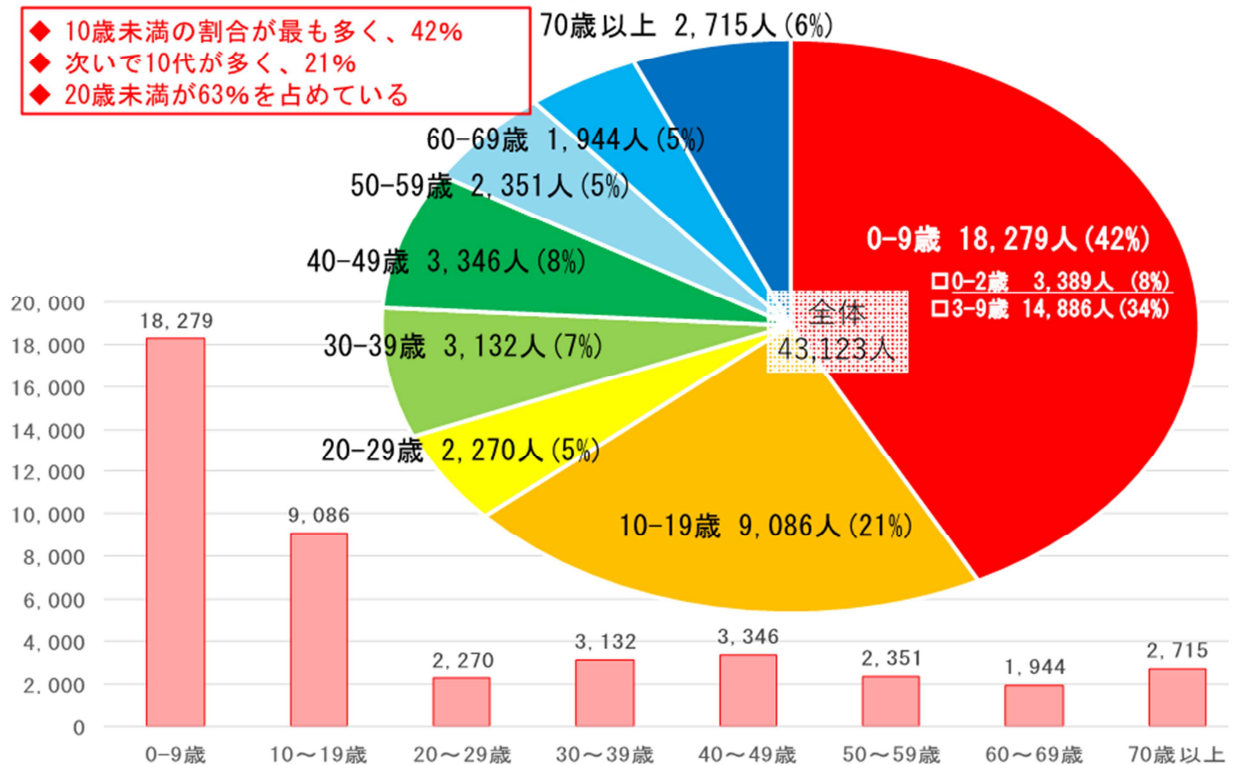


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

**静岡県の2022-2023シーズン
インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合**
2022年第51週～2023年第24週(12/19-6/18) (政令市含む全県)

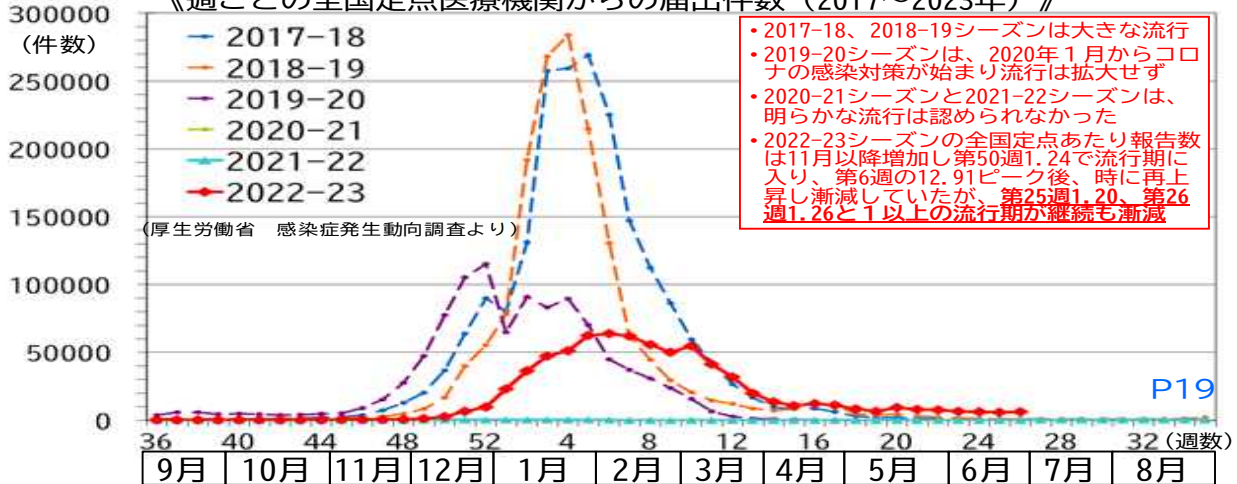


**前回、例年並の流行が見られた静岡県の2018-19シーズンの
インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 (政令市含む全県)**



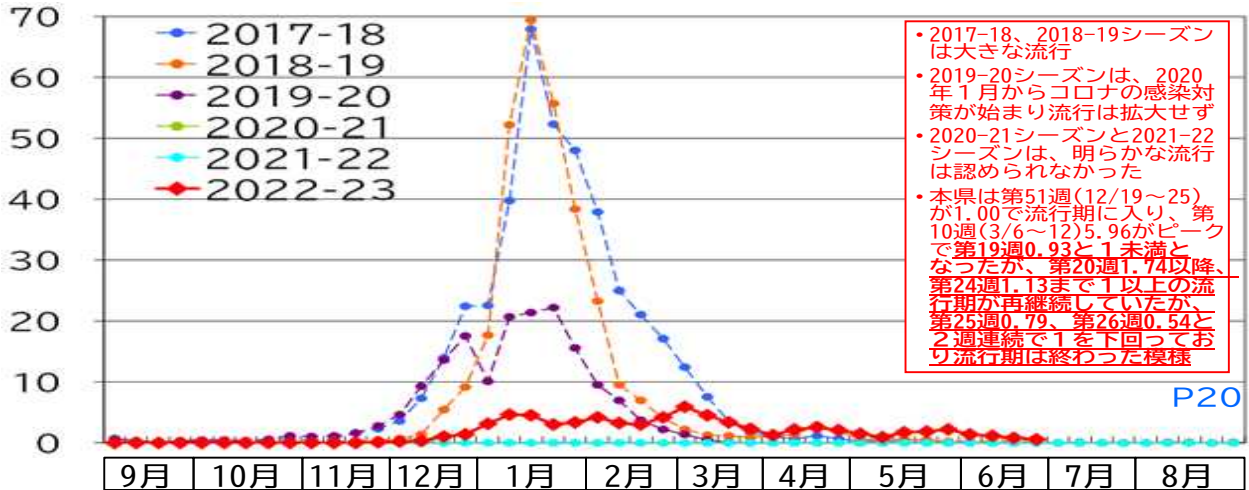
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (6/26~7/2 第26週時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》



- 2017-18、2018-19シーズンは大きな流行
- 2019-20シーズンは、2020年1月からコロナの感染対策が始まり流行は拡大せず
- 2020-21シーズンと2021-22シーズンは、明らかな流行は認められなかった
- 2022-23シーズンの全国定点あたり報告数は11月以降増加し第50週1.24で流行期に入り、第6週の12.91ピーク後、時に再上昇し漸減していたが、第25週1.20、第26週1.26と1以上の流行期が継続も漸減

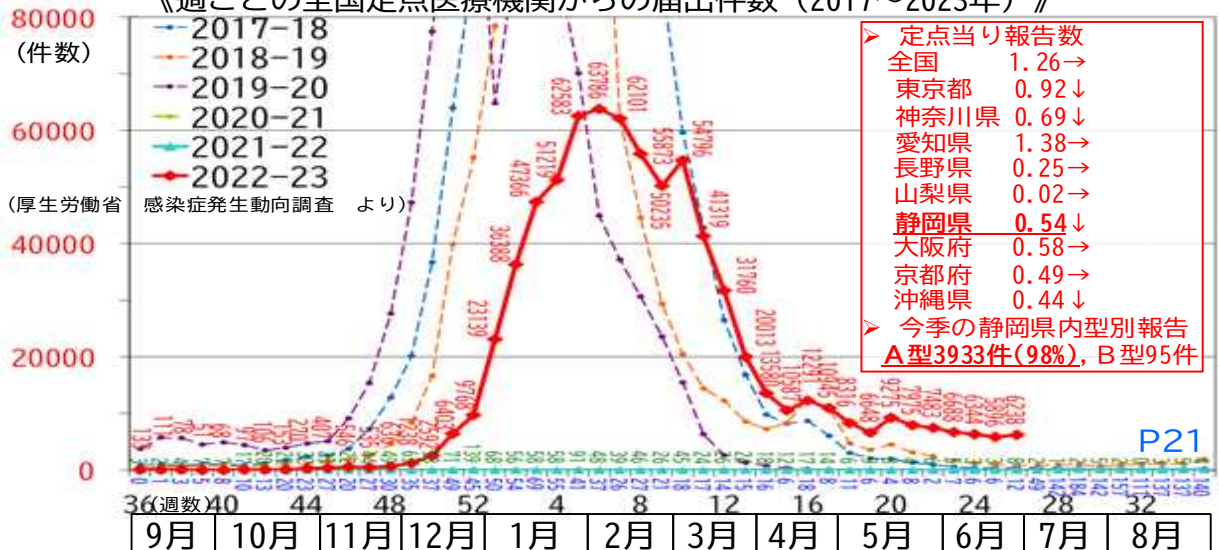
静岡県 インフルエンザ 定点医療機関あたりの報告数 (2017-18~22-23)



- 2017-18、2018-19シーズンは大きな流行
- 2019-20シーズンは、2020年1月からコロナの感染対策が始まり流行は拡大せず
- 2020-21シーズンと2021-22シーズンは、明らかな流行は認められなかった
- 本県は第51週(12/19~25)が1.00で流行期に入り、第10週(3/6~12)5.96がピークで第19週0.93と1未満となったが、第20週1.74以降、第24週1.13まで1以上の流行期が再継続していたが、第25週0.79、第26週0.54と2週連続で1を下回っており流行期は終わった模様

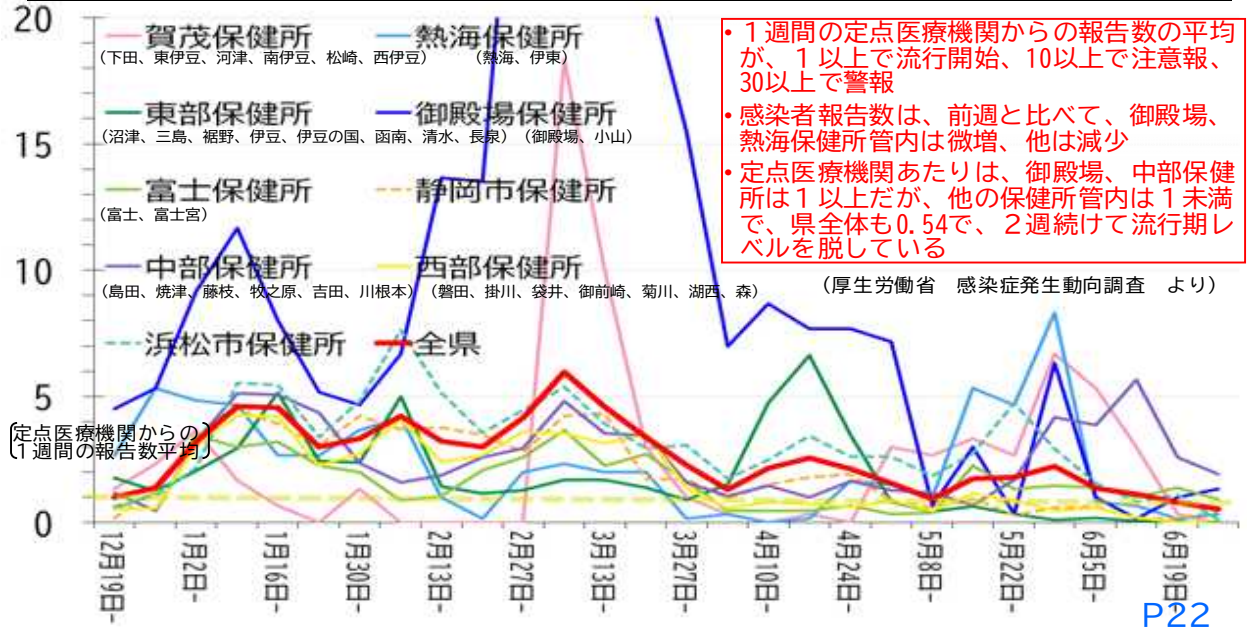
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (6/26~7/2 第26週時点) 【拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》

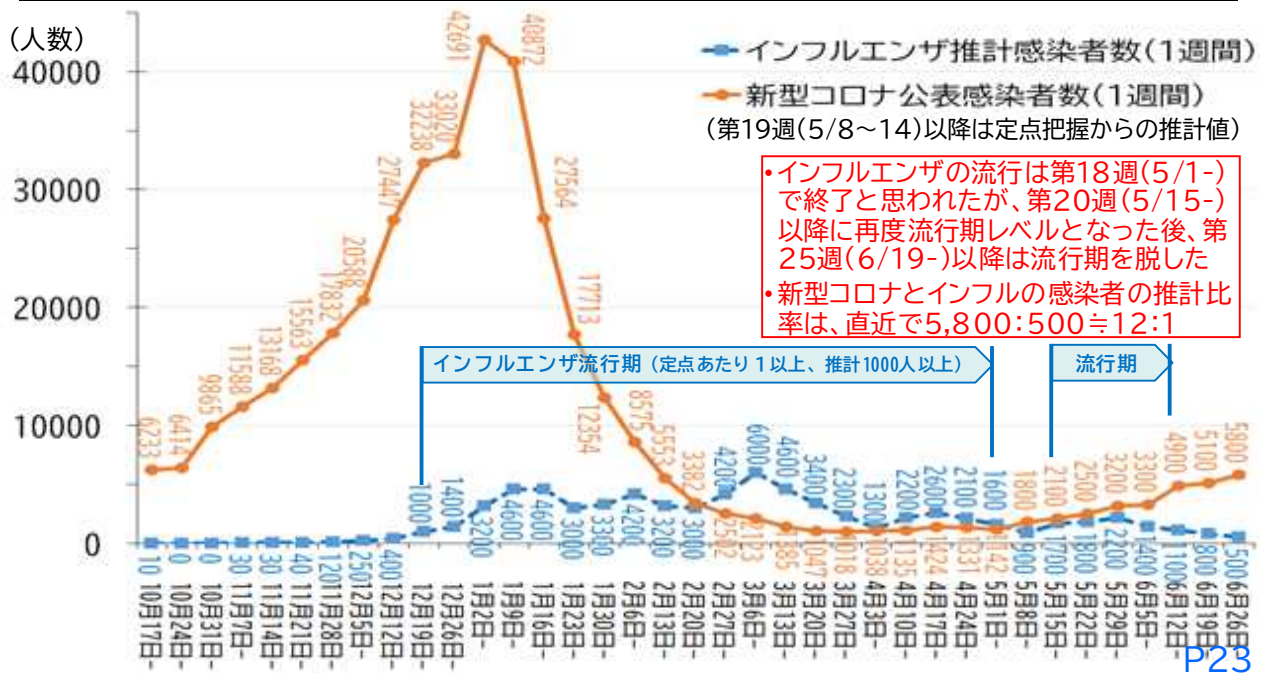


- 定点对当り報告数
- 全国 1.26↓
- 東京都 0.92↓
- 神奈川県 0.69↓
- 愛知県 1.38→
- 長野県 0.25→
- 山梨県 0.02→
- 静岡県 0.54↓
- 大阪府 0.58→
- 京都府 0.49→
- 沖縄県 0.44↓
- 今季の静岡県内型別報告
- A型3933件(98%), B型95件

静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022.11/7~2023.7/2)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022.10/17~2023.7/2)



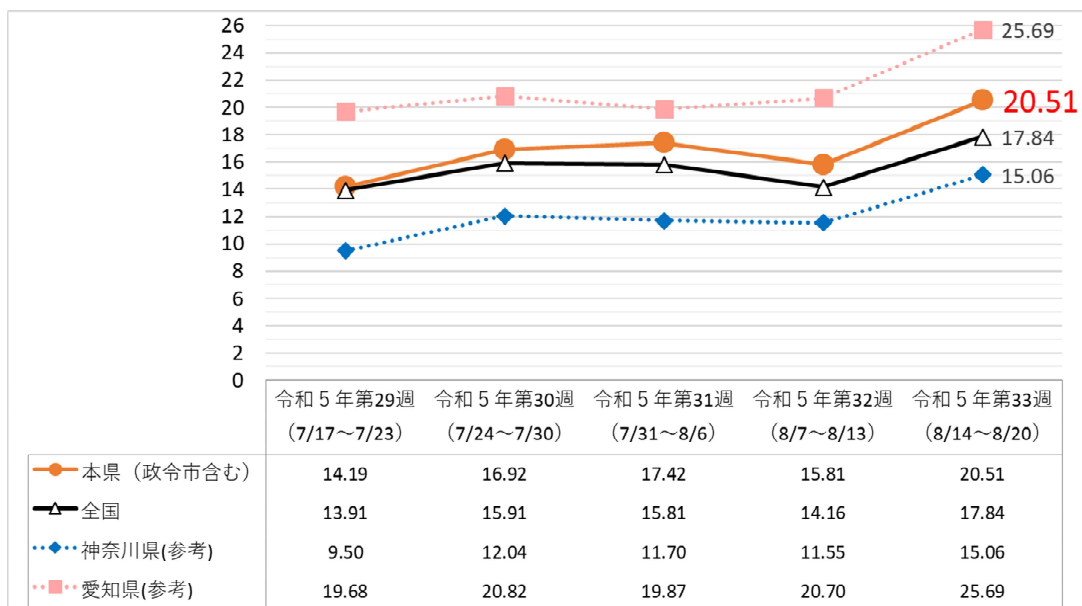
新型コロナウイルス感染症について

令和5年第33週（令和5年8月14日～8月20日）

★令和5年第33週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は **20.51 人/週** で、前週(15.81 人/週) に比べて増加しており、**感染拡大警報レベル** です。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された感染者数は 2,851 人で、前週(2,198 人)に比べて 1.30 倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約 18,000 人(1日平均約 2,600 人)と推計されます。
- ・東・中・西の地域別では、**県東部、県西部地域が感染拡大警報レベル**、**県中部地域が感染拡大注意報レベル**となっています。
保健所管内別では、**賀茂、熱海、東部、御殿場、富士、西部保健所管内が感染拡大警報レベル**、**静岡市、中部、浜松市保健所管内が感染拡大注意報レベル**となっています。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第33週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の 管轄市町名	定点医療 機関数 (A)	定点医療機関 の感染者数 (B)	定点医療機関 当たりの感染者数 (B/A)	県独自の 注意報 レベル※	県独自の 警報 レベル※
県東部地域	賀茂	3	115	38.33	13以上	26以上
	熱海	6	231	38.50	9以上	18以上
	東部	20	436	21.80	8以上	16以上
	御殿場	6	344	57.33	17以上	34以上
	富士	15	367	24.47	11以上	22以上
県東部地域		50	1493	29.86	10以上	20以上
県中部地域	静岡市	25	265	10.60	6以上	12以上
	中部	17	265	15.59	8以上	16以上
	県中部地域		42	530	12.62	7以上
県西部地域	西部	19	499	26.26	10以上	20以上
	浜松市	28	329	11.75	7以上	14以上
	県西部地域		47	828	17.62	8以上
県全体		139	2851	20.51	8以上	16以上

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	第29週 (7/17~7/23)	第30週 (7/24~7/30)	第31週 (7/31~8/6)	第32週 (8/7~8/13)	第33週 (8/14~8/20)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	16.00	24.67	29.33	27.67	38.33	↗ ↗ ↘ ↗
	熱海	17.33	24.83	26.50	27.00	38.50	↗ ↗ ↗ ↗
	東部	11.60	13.70	13.80	14.50	21.80	↗ ↗ ↗ ↗
	御殿場	30.67	45.50	46.00	37.33	57.33	↗ ↗ ↘ ↗
	富士	16.93	23.60	22.07	21.53	24.47	↗ ↘ ↘ ↗
県東部地域		16.44	22.48	22.60	21.64	29.86	↗ ↗ ↘ ↗
県中部地域	静岡市	12.32	11.36	12.72	11.16	10.60	↘ ↗ ↘ ↘
	中部	16.06	13.82	14.18	14.59	15.59	↘ ↗ ↗ ↗
	県中部地域		13.83	12.36	13.31	12.55	12.62
県西部地域	西部	15.47	18.79	21.32	15.42	26.26	↗ ↗ ↘ ↗
	浜松市	9.86	12.57	11.68	10.57	11.75	↗ ↘ ↘ ↗
	県西部地域		12.13	15.09	15.57	12.53	17.62
県全体		14.19	16.92	17.42	15.81	20.51	↗ ↗ ↘ ↗

4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

(1) 県全体の状況

県全体	
8	16
20.51	
警報	

【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

(2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
29.86		12.62		17.62	
警報		注意報		警報	

(3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所	
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市	
13	9	8	17	11	
26	18	16	34	22	
38.33		21.80		24.47	
警報		警報		警報	

静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市
6	8	10	7
12	16	20	14
10.60		11.75	
注意報		注意報	

<県民の皆様へ>

引き続き、以下の点に御協力をお願いします。

- ① 医療機関や高齢者施設の受診や訪問時は、できるだけマスクを着用
- ② 体調に少しでも違和感（特にのど・鼻）があれば、マスクを着用
- ③ 症状（咳・熱・のど痛）が出た時は、学校や仕事を休んで、帰省・旅行も延期し療養を
- ④ 咳・熱・のど痛などの症状が軽く持病のない若い方は、休日夜間の救急外来受診は控えて平日昼間に受診するか、市販薬で自宅療養を
- ⑤ 人が集まる所では、十分な換気・できるだけマスク着用・手洗い励行
- ⑥ 高齢者や持病のある方は、ワクチン接種を検討

なお、熱中症予防の観点から、近くに人がいないときや屋外では、マスクは不要です。

<事業者・学校の皆様へ>

症状が軽く持病もないため市販薬等で対応可能な方が、事業者等から検査結果や診断書を求められたとの理由で医療機関を受診することが外来医療のひっ迫の一因となっています。

外来医療のひっ迫を避けるため、感染まん延時は手続上必要な場合などを除いて、検査や診断書取得を目的とした受診を従事者等に求めないようお願いします。

5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の 感染者数 (A)	管内の 定点割合 (B)※1	管内の感染者 全数の推計値 (A/B) ※2
	賀茂	115	0.335	-
	熱海	231	0.268	-
	東部	436	0.150	-
	御殿場	344	0.505	-
	富士	367	0.215	-
県東部地域		1493	0.221	6756
	静岡市	265	0.109	-
	中部	265	0.154	-
	県中部地域	530	0.125	4240
	西部	499	0.166	-
	浜松市	329	0.117	-
	県西部地域	828	0.134	6179
県全体		2851	0.158	18044

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった感染者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

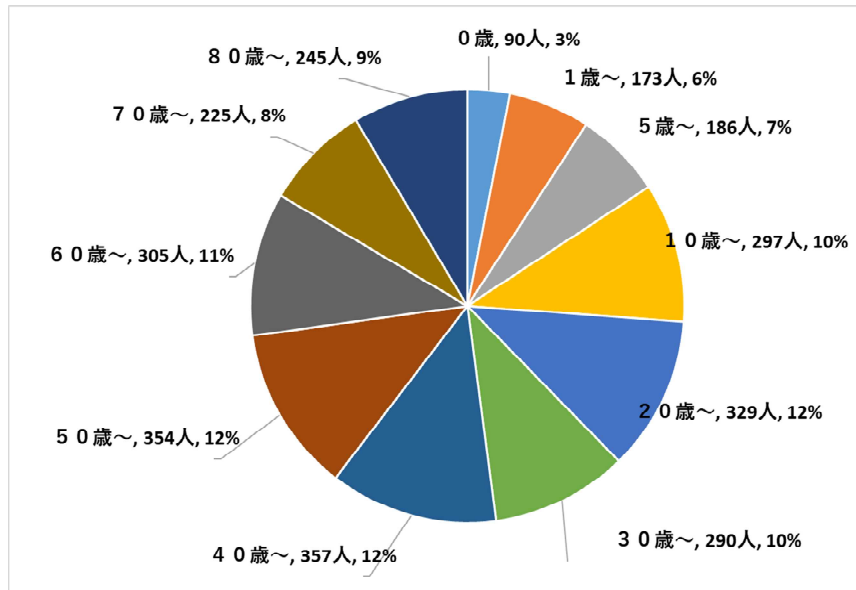
※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の感染者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $2851 \div 0.158 = 18044$ 人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

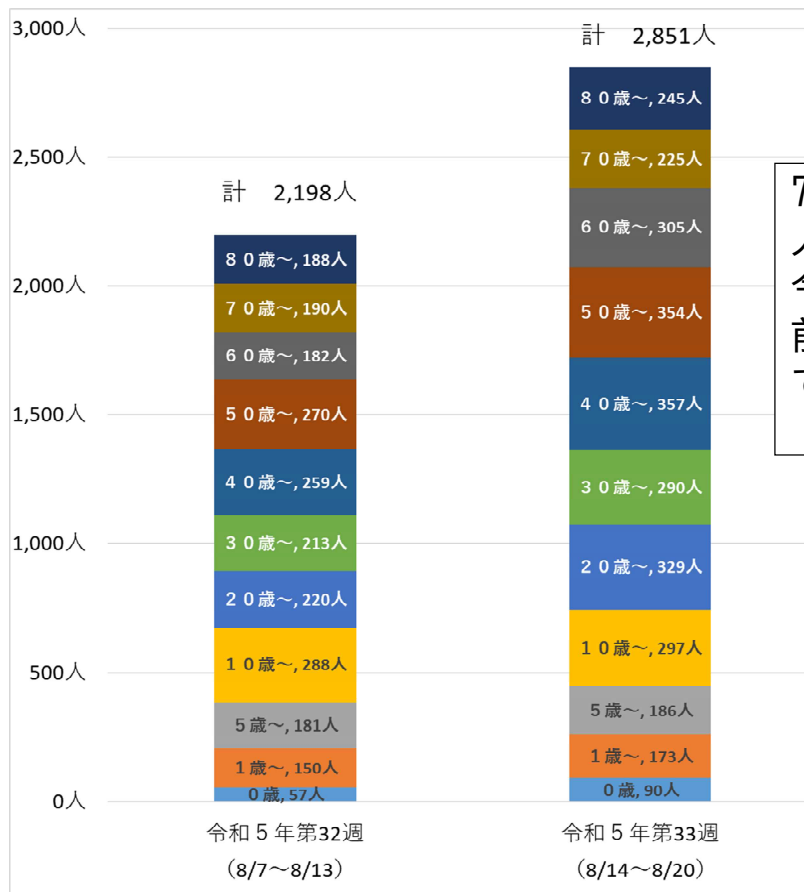
6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
90人	173人	186人	297人	329人	290人	357人	354人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
305人	225人	245人	0人	2,851人



70歳以上の割合は17%です。



70歳以上の人数は、今週は470人前週は378人です。

7 令和5年5月8日以降（令和5年春開始接種） 高齢者（65歳以上）の3～6回目接種の実績

集計期間	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第29週 (7/17～7/23)	17,742	537,979	48.80%	50.66%
令和5年第30週 (7/24～7/30)	18,015	555,994	50.44%	52.42%
令和5年第31週 (7/31～8/6)	13,874	569,868	51.70%	53.65%
令和5年第32週 (8/7～8/13)	7,488	577,356	52.38%	54.36%
令和5年第33週 (8/14～8/20)	4,222	581,578	52.76%	54.80%

接種対象者のうち、高齢者以外の基礎疾患のある者、医療従事者及び高齢者施設等従事者は、上表には含まれません。

<p>令和5年春開始接種の概要</p> <p>○接種時期 令和5年5月8日開始</p> <p>○接種対象者 2回以上の接種を完了し、以下に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者(接種の努力義務あり) ・医療従事者及び高齢者施設等従事者(接種の努力義務なし) <p>○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株対応2価ワクチン(ファイザー社及びモデルナ社) 前回接種から3か月以上経過 ・武田社ワクチン(ノババックス) 前回接種から6か月以上経過

変異株に関する項目については、4月3日(月)分から当面の間、2週間ごとに集計しています。
(今回は、8月7日(月)～8月20日(日)分の集計)

8-1 変異株ゲノム解析結果について（政令市除く）

7月下旬～8月上旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

（結果判明日：8月8日（火）及び8月14日（月））

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	26	0	0	1	43	70
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)
(内組換体)	(0)	(0)	(25)	(0)	(0)	(1)	(42)	(68)

8-2 本県の変異株の判明状況（8月20日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,131	5,733	2,311	2,087
	(前回からの増加数)	(115)	(73)	(13)	(29)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	7,720	4,477	1,663	1,580
	(前回からの増加数)	(115)	(73)	(13)	(29)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,424	663	432	329
	(前回からの増加数)	(2)	(1)	(0)	(1)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,509	2,393	831	285
	(前回からの増加数)	(1)	(1)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	313	180	50	83
	(前回からの増加数)	(112)	(71)	(13)	(28)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（8月20日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
5月15日(月)～ 5月28日(日)	21	1	4	16	4.8%	19.0%	76.2%
5月29日(月)～ 6月11日(日)	15	0	0	15	0.0%	0.0%	100.0%
6月12日(月)～ 6月25日(日)	14	1	4	9	7.1%	28.6%	64.3%
6月26日(月)～ 7月9日(日)	67	2	1	64	3.0%	1.5%	95.5%
7月10日(月)～ 7月23日(日)	12	0	0	12	0.0%	0.0%	100.0%
7月24日(月)～ 8月6日(日)	61	0	2	59	0.0%	3.3%	96.7%
8月7日(月)～ 8月20日(日)	115	2	1	112	1.7%	0.9%	97.4%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （8月7日～8月20日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	2	1. 7%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	112	97. 4%
その他	1	0. 9%
計	115	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」において、「引き続き国内外での動向の注視、知見の収集とともに、国内でのゲノムサーベイランスを継続していく必要がある」とされている系統を掲載しています。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。
このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）